

# 教点連ニュース 平成29年度 第1号 No.31

平成29年9月19日

## 【平成29年度第2回（26回）セミナーのご案内】

日 時 2017年11月18日（土）13:00～16:30

会 場 玉水記念館3階中ホール

（大阪市西区江戸堀1丁目10-31 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」8番出口から徒歩2分  
電話06-6441-0169）

テーマ：「点字学習の導入と、国語教育における点字の表現方法」

内 容：

文字を学び、そして語彙を養う。どの教科においても、内容を理解する上で文字の習得は必須であり、いわば、学習の原点と言っても過言ではありません。点字使用の児童生徒は、点字を学ぶ際、まずは点をたどったり、点の位置を見極める力を習得するところから始まります。

本セミナーでは、点字学習の導入と、活用されている教材について取り上げます。また、高学年になるにつれて、さまざまな配慮を要する国語の点字表記やレイアウトなどについても考えます。

プログラム：

12:30 受付開始

13:00 開会挨拶

13:10～14:10 講演1「点字の読み書きの導入と使用教材」

牟田口辰己氏（広島大学大学院教育学研究科教授）

14:10～15:10 講演2「国語教育における点字表記とレイアウト」

坂井 仁美氏（現行特別支援学校小中学部用点字教科書・  
国語編集主査、愛知県立大府特別支援学校教諭）

15:10～15:30 休憩

15:30～16:20 情報交換

16:20 閉会挨拶

16:30 終了

定 員：80名（定員になりしだい、閉め切ります）

参加費：会員500円、非会員1,000円

参加ご希望の場合は、氏名、所属、使用文字（点字・墨字）を明記の上、11月4日（土）までに、下記までお申し込みください。

お問合せ・お申込み先：

日本ライトハウス情報文化センター・奥野

Eメール [okuno@lighthouse.or.jp](mailto:okuno@lighthouse.or.jp)

FAX 06-6441-0095

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2

電話 06-6441-0015（代表）

# 【平成29年度第1回（25回）セミナーのご報告】

日 時：平成29年6月17日（土）13時30分～16時30分

場 所：日本点字図書館3階多目的室

テーマ：教科書点訳を支えるソフトと点字プリンタ

※参加者：86名

点訳するうえで常に関心が集まるのは表記やレイアウト、そして触図の工夫の仕方など、点訳そのものです。今回は少し視点を変え、「縁の下の力持ち」として教科書点訳を支えている点訳ソフト、点字プリンタを取り上げました。意外と知らない便利機能や特徴を知ることにより効率的に質の高い点訳につなげていくヒントをたくさんいただくことができました。

## 1. 『点字編集システム』の今とこれから 校正機能 BESX 活用の実際 テクノツール株式会社 大鐘 俊也氏

### ①点字編集システムの歩み

最初に「点字編集システム」の誕生から現在までの歩みをご紹介いただきました。

1980年代後半にIBMてんやく広場のためのソフトBESとして誕生、その後windows95の登場でwindows版に改良され、1999年にフリーウェアとなり、2003年、テクノツールに開発販売が移行され「点字編集システム3」となり、以後、3年ごとにバージョンアップし、2015年、最新版の7に至るとの説明でした。

### ②制作支援機能BESX

BESXとは2009年より全国視覚障害者情報提供施設協会と共同開発を開始し、2013年、視覚障害者情報ネットワークサピエ上で公開し、2015年、点字編集システム7に標準装備された機能です。

主な特徴はこれまで手書きで行っていた下調べや構成箇所の指摘を点字編集システムの画面上で一括管理でき、エクセル表としてプリントアウトすることも可能。データ上で点訳・校正・修正・データチェックを行うことができるため、点訳作業の効率化のためにぜひ活用してほしいとの説明でした。点字ペンディスプレイによる視覚障害ユーザーの使い勝手も考慮したとの説明もありました。

### ③点字編集システムの便利な機能

主に点字編集システム7から使用できるようになった機能をいくつか紹介いただきました。

例えば、ユニコードに点字パターンが加わったことにより点字画面をwindows8以上なら

メモ帳などに貼り付けることが可能となったので点字の教材を作成する際、活用できるようになったこと。

数字を点字の点に見立て変換できる簡易変換機能を追加したので、フルキーで点字入力する際、大文字府など文字として存在しない点だけを入力したい時に便利な機能などです。

### ④点字編集システムのこれから

最後に現在開発している機能について紹介いただきました。英語の教科書点訳に不可欠なUEB対応は現在開発中。EBAEからUEBへの変換機能などもゆくゆくは機能追加していきたいとのことでした。こまめなバージョンアップと情報収集が今後も必要だと期待が高まるお話でした。

## 2. 『点字編集システム』と『図形点訳ソフト・エーデル』を繋ぐBESEの機能と活用の可能性

日本点字図書館 和田 勉氏

このソフトは日本点字図書館が図形点訳ソフトエーデルの開発者・藤野氏に依頼して開発したもので、エーデルファイル（エーデルペーパー、エーデルブックいずれも）をBESファイルに変換するシンプルな機能とのことでした。

2016年11月より希望者に無償配布しており、日点のHPにて告知しているそうです。

BESのグラフィックとエーデルでは画面イメージが異なるため変換時に図が劣化してしまったように感じられるかもしれないが、大・中・小の点はエーデルもBESのグラフィックも同じのため、変換した際のデータ上の図の劣化はないとの説明でした。

BESに変換するメリットとして読み上げソフトに対応していないエーデルファイルを視覚障害ユーザーに

提供する際、扱いやすくなるなど上げられました。

変換時のデータ上の劣化はないとはいえ、印刷時は点字編集システムのバージョンや点字プリンタの機種などいくつか注意事項があるのでそれらを確認して使用してほしいとのことでした。

### 3. ここまで使えるフリーウェア点訳ソフト『T・エディタ』

当会理事 鈴 和代氏

点字編集システムは有料のため、ボランティアの中ではフリーウェアソフトである「T・エディタ」を活用している人も多くいます。鈴氏も点訳の際はそれぞれの便利な部分を組み合わせて利用しているとのことでした。

「T・エディタ」の便利な機能として保護点（コタコタコタなど）を一括で貼り付けられたり、ページごとに切り貼りができる機能があることを紹介いただきました。

特に、校正前後のファイルを比較して、テキスト形式や、エクセル形式で校正表が作れる機能があることや、点字編集システムにはない機能として、点字の表記的におかしい点を色付きで画面に表示することができ、これは最後の最後にデータをチェックするのに見落としを最小限にとどめられるため、とても便利との説明でした。

### 4. 点字プリンタ最新事情—もっと便利な点字・点図プリンタの実現を目指して

株式会社ジェイ・ティー・アール 岡村 原正氏

まず垂鉛版製版機製造メーカーの小林鉄工所の製版機部門廃業の一報を受け、これまで数々の点字関連機器を扱う業者が廃業してきた経緯を説明するとともにその現状の厳しさを紹介いただきました。

次にESA600Gはハイスペックを目指した結果、価格も高くなり、発売から5年で4台と厳しい状況とのこと、それを踏まえもう少し価格の安いものとしてESA721の改良版を現在、開発中とのこと。点1種の裏点を出せるように試みているそうです。

最後に部品の確保などにも非常に苦慮していることもあるので点字プリンタを廃棄する際はジェイ・ティー・アールに一報いただければ引き取っていただけるとのお話でした。

### 5. フリーディスカッション

最後に各ソフト、点字プリンタについて質疑応答が行われました。点字編集システムについては「もっとこういう機能を加えてほしい」という要望が休憩時間などにも寄せられたとのこと。すでに搭載されている機能についての質問も多かったことから、ソフト、プリンタの機能を十分活用できていなかったことがわかり、今回のセミナーが非常に有効であったという声が多く寄せられました。疑問・質問は出し、十二分に機能を活用し、よりよい点字教科書作成に生かしていただけたらと思います。

貴重なお話を伺え盛況のうちにセミナーは終了しました。ありがとうございました。

## 【平成29年度第1回理事会記録】

日時 6月17日（土）11:00～11:30

場所 日本点字図書館会議室

議題：

1. 当日午後のセミナーの進行の確認を行った。
2. 総会について
  - ・決算の監査報告に監査日を記載した方がいいという意見があった。
3. その他
  - ・秋のセミナーのテーマについて、会員MLで募集してみるようになった。
  - ・秋のセミナーの候補日は11月18日（土）が第1候補。場所は大阪で開催予定。

## 【平成 29 年度第 2 回理事会記録】

日時 8月8日(土) 13:30~16:00

場所 日本点字図書館多目的室会議室

議題:

1. 本会が公益財団法人 社会貢献支援財団から表彰を受けることが内定した。授賞式は11月27日、東京・帝国ホテルにて行われる。当日の授賞式への参加者について検討している。
2. 秋のセミナーについて  
詳細は1ページを参照してください。
3. これまでに発行した教点連ニュースのバックナンバーをホームページに掲載してはどうか。教点連ニュースというリンクの中に、1号ずつPDFデータをアップすることになった。
4. 日盲連から、視覚障害児教育の現状に関するアンケートについて連絡があった。後日、アンケート協力依頼がある予定。
5. 「教科書点訳のてびき」について  
残部はあと40部となった。来年度に向けて改訂するよう動いてはどうかという意見が上がった。改訂の際は、インクルーシブ教育の現場にも役立つ内容を盛り込んでどうか、教科書点訳に際して、配慮した点を集約し、掲載してはどうか、などの意見があり、今後検討していく。

## 【事務局からのお知らせ】

《公益財団法人 社会貢献支援財団より、社会貢献賞を受賞！ 賞金 50 万円》

社会貢献賞とは、人々や社会のために尽くされた方を表彰するものです。

対象となる功績は、緊急時の人命救助、社会福祉の増進や青少年の育成などへの多年にわたる功労、国際協力などです。

今年4月に、18年度から29年度までの実態調査、点毎に濱井記者が載せてくださった教点連のセミナーの記事、教点連のパンフレット、『教科書点訳の手引き』の案内、過去のセミナー(写真3枚付き)等を提出いたしました。その結果、審査に合格し、受賞につながりました。大変うれしいことです。11月27日(月)に帝国ホテルにて、授賞式が行われます。

《ホームページに、過去のニュースをPDFにて新たに掲載！》

年度ごとに分けてあることと、通巻番号も付けてありますので見やすいと思います。

発行日：平成29年9月19日

発行所：NPO 法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

ホームページ：<http://kyotenren.web.fc2.com/>

発行人：田中徹二

連絡先：(社福) 日本点字図書館 担当：田中・松本

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：[matsumotom@nittento.or.jp](mailto:matsumotom@nittento.or.jp)

振込口座番号：0180-7-262151